

清瀬市教育委員会 殿

学校名 清瀬市立清瀬第四小学校  
校長名 長 沼 正 城

令和 8 年 度 教 育 課 程

標記の件について、清瀬市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

(1) 教育目標

平和で民主的な社会の形成者としての資質を育み、自他の生命・人格・人権を尊重する精神を、あらゆる教育活動の基盤に据える。その上で、自ら学び、心豊かに、たくましく生き抜く力を身に付けた児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

- すなおな明るい元気な子 【自他の命を何よりも大切にできる力】
- なかよく力を合わせる子 【自他の命を何よりも大切にできる力】
- ◎よく考えやりぬく子 【生きて働く知識や技能】  
【未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力】  
【生涯に渡って学び続ける力や人間性】
- 自然に親しむ子 【清瀬を誇りとし持続発展の主体者となる力】

(2) 教育目標を達成するための基本方針

- ・よりよく生きるための基盤となる道徳性及び人権感覚を養い、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、自他の生命を何よりも大切にし、尊重する態度を育成する。
- ・「挨拶交流」の場を設定し、自他を思いやる関わりを通して命を大切にすることを育てるとともに、凡事徹底を図りながら、自分を見つめる力や自立心を養う。
- ・学校生活や家庭、地域での活動を通して、体を動かす喜びや健康の大切さを実感させ、進んで運動に取り組む態度を育むとともに、生命を大切にすることを育成する。
- ・行事や縦割り班活動等を通して、思いやりと協働の心を育み、自他の生命を尊重しながら役割を果たす力を養う。
- ・特別支援教育の充実を図り、全教職員が児童一人一人の情報を共有し、生命を大切にすることを視点で寄り添いながら、自他を尊重し、共に生きる力と個々の資質・能力を伸ばす。
- ・保護者との連携を密にし、その継続性を重視して、目標に向かって粘り強く取り組む態度を育むとともに、生きて働く知識及び技能を活用して課題を解決しようとする力を養う。
- ・学んだ知識や理解した内容を基に、思ったことや考えたことを豊かに発信できる言語力を育成し、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を高める。
- ・授業及び家庭学習において、クロームブックを活用した個別最適な学びを推進し、自ら課題を見だし、解決に向けて粘り強く取り組む学習態度を育成する。
- ・学年の児童の実態に応じて、育てたい資質・能力を明確にしたカリキュラム・マネジメントを行い、学びの視野を広げ、主体的・対話的に深く学び続ける力を養う。
- ・小中連携教育を充実させ、清瀬第四中学校及び芝山小学校との連携を深めることで、学びの継続性を意識し、生涯にわたって学び続ける力や豊かな人間性を育む。
- ・各学年段階に応じた自然体験、栽培、観察活動の充実を図り、実感を伴った理解を深めるとともに、課題発見・課題解決能力を育成し、清瀬の自然や人、文化に親しみ、清瀬を誇りに思い、その持続的な発展に主体的に関わろうとする力を育てる。